

みんなボランティア

165号

新しい発見・出会いの場を創造するボランティア情報誌
発行：宝塚社協ボランティア活動センター

～宝塚保養キャンプボランティア募集～ 数時間だけのちょっとボランティアでも OK です!!

宝塚保養キャンプは、2011年に福島原発事故によって放射能汚染された地域に住む子ども達の、心と体の保養を目的としたキャンプです。2012年3月から春と夏の年2回開催、今年3月の春のキャンプで11回目を迎えました。このキャンプは、宝塚をはじめ阪神間のボランティアが運営しています。あなたもボランティアに参加してみませんか？



第11回参加のみなさん



6日目は手打ちうどん♪
お粉にお水を混ぜてコネコネ。踏んで寝かせて
伸ばして切って、茹でたらみんなで頂きま〜す♪
美味すぎて何倍もおかわりました!!



手打ちうどんを堪能したら、芝生の上で思いっきり体を動かしました。

第12回宝塚保養キャンプ 8月12日(土)～18日(金)

8.12～16 カトリック宝塚黙想の家

8.16～18 高野山

- ・朝食作り（卵焼きができれば大丈夫!）
- ・報告書を一緒に作成（パソコン得意な人大歓迎!!）
- ・高野山での付添いなどなど。

「興味がある」「ちょっとだけなら手伝える」という方、ご連絡お待ちしております！
今までの保養キャンプ報告集。楽しい写真がいっぱい!!



被災地の方の「子ども達を思い切り戸外で遊ばせてあげたい。落ち葉や土を自由に触らせてあげたい。」という声メンバーの心を動かししました。保養キャンプを開催するには、まず宿泊先の確保が必要です。そこで、大林寺のご住職をお願いしたところ快諾していただきとても勇気づけられました。次は食事の問題です。メンバーから「食事は大事ですよ。ちゃんとした物を食べさせないと!」との意見があり、米や野菜など地元宝塚の安全な食材を調達しました。そして、たくさんのボランティアも必要になってきます。メンバーが知り合いに声をかけたりしながら、調理、お風呂、送迎、遊び相手などボランティアの輪が広がって行きました。

こうした皆さんの熱意と努力によって2012年の春から毎年2回宝塚保養キャンプが続けられています。参加した子ども達からは「沢山の友だちが出来た」「ザリガニ釣りや肝試しが楽しかった」「食事が美味しかった」など感謝の手紙が届いています。また、保護者からは東日本大震災による原発事故の影響を受けている地域では子ども達を自由に遊ばすことが出来ないといった切ない親の気持ちや、スタッフへの感謝の言葉が届いています。

参加した保護者の声（報告書より）

「スタッフの皆さまの思いが子ども達にちゃんと伝わっています。皆さまが夜遅くまで打合せをしている姿を見て最年長のT君がこっそりと書いた一文『僕達を楽しませるために、スタッフの皆さまが夜遅くまで頑張ってくれています。ありがとうございます。』子ども達の心に響いています。」

こうしたボランティアの方々の熱い思いと努力によって宝塚保養キャンプは支えられています。

〈宝塚保養キャンプ実行委員会〉

代表者 住々木基文（高野山真言宗西光院・名誉住職）

連絡先 〒665-0034 兵庫県宝塚市小林1-2-20
高野山真言宗 西光院

電話 090-1892-0524 蒲牟田（かまむた）

FAX 078-652-8848

Mail takarazukacamp@yahoo.co.jp

Blog <http://takarazukacamp.blog.fc2.com/>